

平成27年度 第4回「ともに考えよう まちづくりミーティング」

平成27年11月7日（土）18時30分～

犀川公民館 2階大・中会議室

内川、犀川、湯涌、東浅川、俵、

医王山（校下・地区）

(1) 市長あいさつ

【山野金沢市長】

皆さん、こんばんは。

本日は、土曜日の夕方、外出しづらい時間にもかかわらず、たくさんの方お越しいただきまして、本当にありがとうございます。

今回は、内川、犀川、湯涌、東浅川、俵、医王山のそれぞれ校下、地区の皆さんにお集まりいただきました。今ほど司会からありましたように、忌憚のないご意見をお聞かせいただければと思っています。

まずは、地域の皆さんから事前にいただいている課題につきまして、市からお答えをさせていただければと思いますし、そのことにつきまして、またいろんな関連質問等々ございましたらおっしゃっていただければと思っています。限られた時間ですのでどこまで進むのかはわかりませんが、時間があれば自由時間、レジュメの討議というところでいろんな、本日上がっていない課題についてのご意見などもお聞かせをいただければと思っています。今この場ですぐお答えできることもあるかもしれませんが、今ここではすぐお答えできなくて、一度市に持って帰って、後日皆さんにご連絡をさせていただくということもあるかもしれませんし、中には、もしかしたら期待されているお答えができないものもあるかもしれません。そのことであつたとしても、では、そのことについて今後どうやって皆さんと一緒に取り組んでいくかという意見交換のきっかけになればと思いますので、今日は限られた時間でもありますが、皆さんと有意義な意見交換ができればと思います。

どうぞよろしく願いいたします。

## (2) 地域代表あいさつ

【湯涌校下町会連合会 会長 山本 正直 氏】

6人の中でなぜ湯涌かと疑問に思われた方もいらっしゃると思いますので、一言おことわりをさせていただきます。

実は先般、このまちづくりミーティングの打ち合わせを行った際に、この会は連長を、最も長くやっている者がやるべきだということで、私にお鉢が回ってきました。どうぞよろしく願いいたします。

先ほど市長さんからもお話がございましたように、大変出づらい、出にくい時間帯にもかかわらず、「ともに考えよう まちづくりミーティング」にご参加をいただきまして、まことにありがとうございます。

金沢市と金沢市町会連合会が協働で開催している、まちづくりミーティング、城東地区は区域も広く、また町会連合会が9つとその数も多いことから分散開催となっており、今回が平成23年に次いで2回目であろうかと思っております。

城東地区の中でも山間部、中山間地域に位置する4校下と2地区、人口がだんだん減っていく人口減少社会にあって、山間地の住民を取り巻く環境は4年前に比べて大変厳しさを増している、さまざまな課題が山積みとなっています。そうした中において、各校下が抱える課題あるいは懸案について、市長さんはじめ、市の幹部の皆さん方の考え方、方針等をお聞きし、議論を深め、地域の活性化につなげていけたらと考えていますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

簡単ですが、地域を代表してのご挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願い致します。

## (3) 地域課題の説明、課題に対する市の方針等の説明、討議

### ①中山間地域の獣害対策について（内川）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、

レジュメを参考願います。

【俵地区町会連合会】

今日、県央農林で、東荒屋地区でいろんな里山の活性化セミナーというのがありまして行ってまいりました。その中で、森づくりの話ですが、実は「きんしん森づくりの会」

というのがあります。局長さんは知っていらっしゃると思います。その中で、企業体、それから金沢市の森林再生課といった、行政と企業体、そして地域が、山道である、昔で言うところと赤道を刈ったり、それからだんだん進行して行って、手入れのされていない山の木を皆さんで整理すると。その中でコナラとかドングリとかを植えているということで、私、非常にいいアイデアだなと聞いていました。それで、県央農林の方にも、今日、私たちの城東地区、いわゆる中山間地のミーティングがある、ということをやったら、「私どももいろいろ市に出向いてまたそういうことをしたい」と言っていましたので、皆さんに機会があったらぜひとも参加していただきたい。

実を言うと、金沢市の中でも、今日の里山活性セミナーには6つぐらいの地域しか出ていなかったです。おそらく二十幾つぐらいの集落協定があるんですが、なぜ出ていないのかと。本当に農業形態も変わっていますし、中山間地は特に厳しいので、ぜひともこういったセミナーがあった場合は皆さんそれに参加して、参考にさせていただければ、森づくりの話、それから営農のことも、いろんな勉強になるんじゃないかと、このように聞いてまいりました。

#### 【村本農林局長】

いろいろ良いアドバイス、ありがとうございます。

今、企業の森づくりというのは結構やっています、きんしんさんもそうですし、米沢電気さん、アルプ薬局さん、ダンロップさん等いろんな方がやっています。そういう方のご協力がやはり必要かなと思っています。

先ほどからお話がありますとおり、高齢者が多い中で、なかなか山の整備が進まない。そんな中に企業さんがクマ等の動物の餌になる木を植えて、里山とのすみ分けに協力していただけるというのは大変ありがたいと思っていますし、市もそれに対して、企業さんにもご協力、ご支援もしていきたいと思っていますので、また良い情報がありましたら教えていただければと思います。

県央農林の会合自体については、市に情報が入っていませんでしたもので、申しわけございません。もし何かあれば、市からも出ていきたいなと思っていますので、また県央農林とも情報を密にしていきたいと思っています。

#### 【東浅川校下町会連合会】

2つ質問があるんですが、生態系の中で、この豊かな自然を次世代にという点であれば、石川、金沢は本当に豊かなところだと僕は思っています。最近、関西からこちらに引っ越しに来て、ここで生きていこうと決めているのですが、その中で、ほかの命、生き物たちと金沢は、その生態系の中で共生していくこと、理想というのはどのあたりに描かれているのかを知りたいです。というのも、人はクマとかイノシシ等いろんな動物たちに癒やされている実態がありますし、セラピー面でもそういったところがあったりするので、その辺の描いているところを教えていただけたらと思います。

あと、植林に関して、それを雇用という形で、仕事がない方のきっかけとして、自然に向かっていくというところで仕事が派生できないか、そういったことの現状の展開や動きがあれば教えてください。

#### 【村本農林局長】

生物多様性につきましては、範疇外で私も勉強不足でして、この場で間違ったことを言えないので、環境局でまた後日回答という形でお願いしたいと思います。

植林の雇用ですけれども、やはり民有林を森林組合が一生懸命やっておられます。だから雇用という中では、また森林組合で雇用の機会があるのではないかと考えています。

一般の方が森の中へ入って植林をしたり、間伐したりというのは、そこに長年住んで育った方なら可能かと思いますが、なかなか一般の方は難しいと思いますので、そういう方のために金沢林業大学というのを開校しています。そこで研修を積んでいただければそういうことも可能かなと思っております。私も山育ちではないのでわかりませんが、一般の方が森に入ってすぐ木を切ったりできるかという、なかなか難しい面がありますし、それと植栽にもいろいろ植え方があると思います。一度林業大学校で研修を積んでいただいて、森林組合の中に林業大学校の事務局もありますし、森林組合での雇用というのも発生すると思いますので、それらも目的に林業大学というものをつくっていますので、そういう形で勉強、それから技術を習得していただければと思っています。

最初の生物多様性については答えになっていませんが、またそれは環境局から回答をよろしくお願ひしたいと思います。

#### 【山野金沢市長】

1点目の件の、お答えになるかどうかはともかくとして、思いを述べさせていただければと思います。

他の動物、たとえば犬や猫でしたら比較的ペットとして、まさに癒しの対象でもありますし、いわゆる野良猫も、残念ながら金沢市でも殺処分をしなければいけない例もありますが、それを少なくするためのさまざまな施策に取り組んでいるところです。

ただ、クマやイノシシ、サルもそうかもしれませんが、今言ったような動物と市民が共生という意味で具体的な施策というものは、市民の皆さんに政策として発表できる段階ではないと思っています。今申し上げられることは、先ほど局長が答弁でも答えましたように、国有林が多いのですが、国有林でドングリやカシ、ブナ等の植林を積極的に働きかけていくことによって、イノシシやクマが麓においてこなくても生活できる環境をつくっていくことに意を用いていきたいと思っています。

ただ、それ以外の施策、共生という意味で具体的なこととなりますと、担当部署のアイデアがあるかもしれませんが、今の段階で皆さんの前で明確に申し上げられるのはそういうところではないかなと思っています。

#### 【宮本総務局長】

総務局長ですけど、昨年度まで環境局長もやっていたので、わかる範囲で少しお答えしたいと思います。

自然環境の保全につきましては、自然環境保全条例というものがあまして、その中で保全する場所を保護地域という形で定めて、自然環境をしっかりと保全していくという取り組みがあります。

もう一つ、これは現在進行中ですが、生物多様性地域戦略というのを環境局で策定中のごさいまして、しっかりと守っていくべきもの、活用していくべきもの、活用してその自然の恵みをうまく利用したり、どんな形で自然や生物多様性というのを金沢市のまちづくりの中に活かしていくかという、そんな戦略を策定しています。それがまとまれば先ほどお話があった生物多様性のビジョンが明確になると思いますし、環境局から公にしていくと思いますので、しばらくお待ちいただきたいと思います。

#### ②中山間地域の農業について（犀川）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

③移住・定住を促進するための連携と支援について（湯涌）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【湯涌校下町会連合会】

先ほども述べさせていただきましたが、分家住宅の補助制度を受ける条件の中に農家世帯とあるが、実家が現に農業中ということは、耕作するだけじゃなくて販売して収益がないと農家ではないと。だからその実績がないと補助金は交付しない、というのはどうなのか、と思いますが、改めて聞かせてください。

【野口都市整備局長】

里山地域における定住支援制度ですが、現実的には交付の要件がありまして、農家の分家世帯、農業を営む者といういろんな条件、たとえば「10アール以上の農地を自ら耕作し、営農開始から10年以内の者」などに該当することとなっています。農業をしていて実際に収益というか、生計を立てているということだと思います。これにつきましては、手持ちのパンフレットだけでは判断がつきにくい、また答弁しづらいところもありますので、申し訳ありませんが、改めて調べて回答させていただきたいと思います。

【湯涌校下町会連合会】

先ほどからの説明の中で、市街化調整区域を外して市街化するという事はかなりの、景観的な意味とか集落形態の意味でもリスクは大きいということは、私は金沢市の意見にある程度賛同する面もありますが、市街化調整区域を調べてみますと、市街化調整区域内における例外的に認められる開発行為、第34条というのがあって、その8号2の中に集落地区計画内の建築というのがあります。集落地区計画を立てることによって、外から来る人、あるいは今言った血族の問題をある程度解決していくことは可能ではないかと思っています。あくまでも市街化調整区域の趣旨を尊重した上なので、市街化の抑制とか、あるいは住民の同意とかは原則として必要ですが、それを考えることによっていろんな可能性

が出てくると思います。

3つのパターンがありまして、その中で湯涌地域に該当するものが既存集落整備型というものではないかと思っています。ある集落を計画的に将来のイメージを描いて提案することによって、今言っていたいろんな問題を外していくことができるという内容です。

たまたま私、茨城県の水戸市で住宅設計をして今建設をしています、それが市街化調整区域なんです。それで、実家も農家ではないし、引っ越されてこられる方も娘さんと旦那さんを連れて帰ってくると、名字も違って農家でもないという方ですが、確認申請を出すときに集落地区計画の申請というのも同時にあって、話によると市長さんが決めたところは緩和される場所があるという話をされました。

それで、今、野口都市整備局長から説明があって、国ともいろいろ交渉されているということなので、一概に私の言っていることが、全て立証をとって述べているわけでもないのですが、たまたまそういう地域で今言った住宅を建設していますから、いろいろ難しい面もあるとは思いますが、その条文の中で例外的に認められる開発行為という項目があって、集落地区計画内の建築というのがあるわけですから、ちゃんとした計画を立てれば、それが認められて今のような問題を解決して定住促進していくことができると思いますので、ご検討いただければ、という提案です。よろしくお願いします。

#### 【野口都市整備局長】

詳細は、私も理解していない部分がございますが、市街化調整区域というのは、まちなかみたいに無秩序に開発されていくということのを食い止める区域でありまして、そうではなく、集落を維持していくために必要な部分の建築というものは、許容すべきところだと私も考えています。

その中で、今言われた調整区域の中でも集落地区計画というものが、私どもと地域の方とでお話しする中で、どんな取り組みがあって、どんなゾーニングで、それは無秩序に市街化するものではなく、集落の活性化のために寄与するものであるとしたら、その計画をつくった中でゾーニングして地区計画を定めていくという手法も可能性として出てくると思いますので、それも含めて今後お話し合いをさせていただきたいと考えています。

#### 【山野金沢市長】

今お話しいただきましたように、水戸市や、また東京都の八王子市でもいろいろと研究をしていることは聞いていますので、局長の答弁の繰り返しになりますが、具体例を調べさせていただきながら、市街化調整区域の考え方をきちんと守っていきながら、住んでいる方たちが快適な生活を保っていきける、先進的な例を調べさせていただいて、湯涌地区だけではなくて金沢市の中でも反映できるかどうかを含めて研究させていただければと思います。

#### ④住民の安全・安心の確保（東浅川）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

#### ⑤俵地区の活性化に向けた旧俵小学校校舎の利用策について（俵）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

#### 【俵地区町会連合会】

今、俵地区で、若者たちや子どもがいない、というのは切実な話だと思います。もしそこに子どもたちが集まってくればいい、ということはずっと思っていますが、その中で、自然の中に触れることでひきこもりが軽減するという事例がございます。実際に加賀市では、シェアハウスという形でそんな活動をやっている方もいます。

たとえば、こちらの地区の学校内にひきこもりのケアをするようなところをつくと、子どもたち、そしてその親御さんたちもいらっしゃいます。その中で、ご高齢かもしれませんが、畑などをできる方がいらっしゃいまして、その方が子どもたちに畑を教えたり自然の楽しさを教えたりすることによって、子どもたちのひきこもりを軽減する。もしそれがうまくいったら、子どもたちだけではなく、ひきこもりの場合は大人のひきこもりもいらっしゃいますので、そういう方たちが農業の担い手になる可能性もございます。加賀市では、実際に畑を管理するようになった、ひきこもりの子たちが改善した、という例もありますので、そうすると人が集まるのではないかと私は思っています。

小松市に里山自然学校こまつ滝ヶ原という例がございます。こちらは廃校、廃園を利用して自然学校をつくっているんですが、その中には食堂もございます。実際に地元で取れ



た食材を使用した食堂をすることによって、人々が集まるだけではなくて、その食材を育てる方法も全部ケアしてあげると、そこにコミュニティが広がります。もしよかったら、この俵小学校さんが金沢市の中でもモデルケースになればいいな、と私は考えています。どうぞご検討いただければと思います。

**【野口教育長】**

今ほど大変貴重なご意見を頂戴したと思っています。ぜひ今後の利活用の参考にさせていただきたいと思います。

近くに銀河の里キゴ山という少年自然の家やふれあいの里がございまして、そちらにつきましては家族単位のご利用が可能ですし、体験農園等もありますので、そんなところをご活用いただくのも一つの手かなと思っています。

**⑥医王山分団機械器具置場の建て替えについて（医王山）**

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

**【医王山地区町会連合会】**

今、消防局長さんから非常にうれしい回答をいただきまして、何とか実現できるようによろしく願いいたします。

**(4) 共通課題について討議**

**①共通課題「中山間地域の活性化と安全安心」（湯涌、東浅川、医王山）**

「共通課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

**(5) 質疑応答**

**【俵地区町会連合会】**

この地域とリンクしていませんが、3月14日に新幹線開業しまして非常に大きい経済効果が表れているということで、尽力いただいた行政さん、各関係の方々には感謝したいのですが、この前、新聞に出ていましたが、金沢は宿泊料金が高い、と。せっかく観光都市

として皆様方努力されたのに、料金の高い所へ行けないと逆効果になっているんじゃないかなというのがまず1点です。そこはまた一考していただき、早目の対策をお願いしたいと思います。

明日まで、青年会議所の世界大会があります。大きい規模で、金沢市内にも外国人の方がいっぱいいらっしゃっていて、そのおかげというわけではないですが、旅行に来た人が宿泊できないという声があると聞いていますし、1カ月ほど前に、新聞にも出ていました。それで、その後の対策はどうなっているのか。ここの地域で言う話じゃないのかもしれませんが、気になったので、一市民としてちょっと教えていただきたい。

もう1点、ここの地区で先ほど出ました、市街化調整区域の件ですが、これはもしかしたら特区みたいな形で開放できないでしょうか。市街化調整区域の解除の特区で、金沢市東部の6地区でなくても、たとえば内川や東浅川など、このあたりの地域であれば、せめて1地区もしくは2地区を特区として開放することを施策として実行できないかと思ったので、意見として言わせていただきました。

#### 【犀川校下町会連合会】

私の要望は、犀川校下にお住まいの方ならご存じだと思いますけど、涌波から永安町までの細い道路がちょうど500mぐらいあります。30年前に、金沢市は都市計画道路をつくられるということで非常に期待していました。ところが、残念ながら未だにナシのつぶてです。その細い道は非常に危険です。安全・安心よりほど遠い。一つの例を申し上げますと、辰巳丘高校や金沢学院大学の学生さんが自転車で通ります。それから老人も自転車で通ります。もう大変でよろよろしています。もう一つは、バスが普通にすれ違うことができませので、冬場になるとバスは涌波の坂の手前でもう待っています。非常に危険な道路です。

30年もありながら、少しずつでも拡幅するとか、買収はなかなか難しいとは思いますが、努力をすれば、何かがあってしかるべきじゃないかなと。まして、学校側がこのまま、金沢学院大や辰巳丘高校が今日、明日移転する可能性が全くないことを考えますと、市は県と協力していただいて真剣に一歩ずつでもできるところから幅を広げると。それによってバスがすれ違えるという可能性があります。それをほったらかしておくというのは非常に心外でございます。ぜひ市長さんのお話をお聞きしたいと思います。

#### 【八田経済局長】

北陸新幹線の問題は非常に良い話ばかりではなくて、先ほどご指摘の料金が安いという話、私どもも耳にしています。本当に憂慮しています。今のところ、週末で一部のホテルに高い料金があるということも事実だと認識しています。やはりこれは何とかしないといけないということで、ホテル懇話会や旅館ホテル協同組合と十分に意思疎通を図っています。加えまして、今一度、関係の団体等と県とともにその辺の要請をしたいと思っていますので、その点で頑張ってもらいたいと思います。

あと、宿泊予約が取れないというお話ですが、確かに今年はコンベンションが毎週のようにありましてかなり厳しい状況でした。当初から、市外あるいは県外でもホテルを押さえてほしいということで、エージェントにもお願いをしてきたところですが、もう一つ、観光案内所の中で当日宿泊予約もやっぴりして、やはり当日にキャンセルが出るのがかなりありまして、それはインターネットでなくて直接、朝、FAXや電話でホテルに確認をして、ご紹介をしていく、そんなこともして、なるべく皆さんのご不満にならないように努めているところです。今後、市内でプラスシェア型のホテル等が2棟できるということも見込まれていますので、その情報もしっかり出していきたく思いますし、また皆様方もいろんな苦情がありましたら、またおっしゃっていただいて、しっかり対応をしていきたく思いますので、よろしくお願ひします。

#### 【野口都市整備局長】

市街化調整区域で、特区で市街化区域並みの土地利用というご提案だったと思いますが、先ほどもお話ありましたけど、調整区域は開発を抑制する区域という中で、その地域の中で活性化に資するとか集落を維持するために、調整区域の中で地区計画という制度が一つあったり、調整区域という土地利用にもう一つ横出しなり上乗せしたような土地利用のルールをつくるというのが都市計画の一般的な手法だと思います。一番もとの市街化調整区域を、特区で市街化区域にするというのは、なかなかそこまでは難しいかなと思っていますので、まずは地域の課題を一つ一つお話をお聞きしながら、解決のためにどういう手法があるかをまた検討、研究していきたく思います。

それと、涌波と永安町間の道路ですけど、都市計画決定がなされて30年ということで、都市計画道路の線はありますが、事業化には道路に関連した地域の面的な整備等を並行して行うことも前提条件になっていまして、正直、その課題が多くあります。

一方で、現状で危険な箇所への対応も非常に大切というご提案でしたので、そちらについ

ては土木局長から話をさせていただきます。

**【浅川土木局長】**

今の現道の部分につきましては、確かに幅員も少し狭く、バスが通るという関係もあってすれ違いもしにくいところがあると聞いています。本年度から一部、用地を取得しながら部分的な改良を進めてまいりたいと思っていますので、また、今後ご協力のほどよろしくをお願いしたいと思います。

**【山野金沢市長】**

私にというお話もありましたので。

今、両局長が申し上げたとおりであります。ただ、こうしてまちづくりミーティングという大切な場で改めて問題提起もいただきましたので、両局長や関係部署ともしっかりと打ち合わせをしながら努めていきたいと思ひますし、また具体的なタイムスケジュールが決まった段階で、町連会長さんを初め、地域の方たちにご説明に上がりたいと思ひます。

**(6) 市長まとめ**

**【山野金沢市長】**

長い時間ありがとうございます。予定の時間も少し過ぎましたが、私から簡潔に幾つか。

まず、地元の高村先生が、2カ月前から予定があっても出席できないと、皆さんにその旨伝えてほしい、とのことでしたのでお伝えいたします。

2つ目ですが、地域おこし協力隊。良いと思ひます。ご提案もいただきましたので、ぜひアイデアも出してください。自分はこんなアイデアを持っていると。このことよって自分の住む湯涌地区だけじゃなくて中山間地にこんなことができるというアイデアを出していただきながら、何としてもやっていきたいと思ひますので、実際動くときには力を貸してください。若い方の仲間を呼んでいただいて力を貸していただくことが、今日のこの地域だけじゃなくていろんなモデルケースになってくるかと思ひますので、ぜひ力を貸してください。お願いします。

今、かがやき発信講座の話も出ました。先ほど二俣地区の方からお話ありましたが、起業支援のことも載っています。開催対象に「10人」と書いてありますが、そんなに集まらなければ、少人数でも結構ですので、電話等でご連絡をいただければと思ひます。

今日は出ませんでした。今、議会でいろんな形で議論のある、関心を持っていただいている一つが家庭ごみの有料化の事です。実は私も講演をよく頼まれます。30分、40分ではなかなかできませんが、1時間とか1時間半の講演を頼まれたら10分か15分もらいます。「10分か15分、皆さんの希望するテーマと違うテーマを言います」と言って、家庭ごみの有料化の話を私なりに丁寧に、慎重にさせていただいています。今日はもう時間がなく、環境局長もいませんので申し上げますが、ぜひそれぞれの校下、町会、婦人会、PTA、育友会、それらでなくても結構です。何らかの仲間でも結構ですので、ぜひこのテーマに関心がある、いろんな意見がある、金沢市の考え方を聞きたい、とご連絡をいただければと思います。担当部署がどこでも出ていって丁寧に説明をしながら、市民の皆さんのご理解をいただきながら政策を進めていきたいと思っています。

そのことも含めて、アンケートをぜひお書きいただければと思います。今日は時間がなく、話したいこともたくさんあったかと思っています。もしかしたら、アンケートを書く時間も余りないかもしれませんが、お手紙でも何でも結構ですし、私は自分のブログも、フェイスブックも、ツイッターも、メールも完全に公開していますので、ここでは言いにくかった、みんなの前でしゃべりにくかった、手で書く時間もないなど、家で、職場の休憩時間等でお時間があるならば私に直接言っていただいても結構です。直接言っていただいたことに対して、きちんとお答えはできないかもしれませんが、私からできないが、担当部署から返事をしますという形の返事になるかもしれませんが、必ず返事はします。もし紙に書けず時間がないということでしたら、そういう形でも結構ですから皆さんのいろんな声を聞かせていただければと思います。

ちょっと時間が長くなりましたが、今日も大変勉強になりました。またいろんな機会で皆さんと意見交換ができればと思います。ありがとうございました